

講習開催団体の皆様

日本赤十字社東京都支部

感染症流行下における講習開催の留意事項について

この度は、赤十字講習を開催していただき、ありがとうございます。

受講者の皆様の安全確保と感染防止を考慮した方法で、講習を実施させていただきます。

つきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について、下記のとおりご理解とご協力をいただきたく、よろしくお願いいたします。

1. 会場について

会場を屋内とする場合は、広さが十分で、換気機能付きの空調機の利用や窓・ドアを開けることにより、常時またはこまめな換気（1時間に2回以上、かつ、1回に5分間以上）が行える会場選びをお願いします。

2. 準備のお願い

以下についてご確認の上、講習当日は会場に資材ご準備ください。（参考：主催団体にご準備いただく感染対策資材一覧）

- 接触を伴う実技実施の際には指導員からマスク着用をお願いをすることがあります。その際に受講者がマスクを着用いただけるよう、事前にご案内いただくと共に、会場に予備のマスクをご準備ください。
- 石けんと流水による手洗いが可能な環境や、手指消毒用アルコール等のご準備をお願いいたします。
- 実施時期を考慮の上、換気によって生じる寒暖を調整可能な衣服を準備するよう周知してください。
- 受講者の緊急連絡先を把握していただき、万が一、感染が発生した場合の備えをお願いします。

3. 受講にあたって

- ご担当者様は講習実施直前に各参加者に対して、別紙1-1「個人健康チェック表」や別紙1-4「健康チェック一覧表」を参考に、検温・体調チェックを行ってください。なお、同別紙の使用（記入）は任意とし、日赤東京都支部へのご提出は不要とします。
- 別紙1-3「安全に講習・防災セミナーを行うための事前連絡及び同意事項」を事前に受講者に周知し、同意いただってください。
- 健康チェック表の項目に該当し、受講に適さない方がいらっしゃる場合は、受講をお控えいただくようご案内願います。
- 受講者について、マスクの着用は個人の判断に委ねます。（詳細は4）
- 接触を伴う実技を受講者同士でペアとなっていく場合や、受講者同士でのグループワークがある場合は、その旨を予め受講者へ周知してください。
講習中は指導員の指示に基づき、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

4. マスクの着用について

受講者について、マスクの着用は個人の判断に委ねます。

ただし、以下の場合など必要に応じて受講者にマスクの着用をお願いすることがあります。

- ① ペアを組んで接触を伴う実技を行う場合（ただし、水上安全法を除く）
- ② グループワークを行う場合
- ③ 感染の拡大、または受講者の年齢層などから、日赤東京都支部の判断でマスク着用が望ましいと判断した場合
- ④ 感染が大きく拡大し、政府が一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼び掛けるなど、より強い感染対策が求められた場合

5. 人工呼吸の実技について

一次救命処置における人工呼吸の練習は呼吸を吹き込まないでください。

6. 万が一感染が確認された場合について

- 感染が確認された場合は、主催者の規定に基づいてご対応願います。また、赤十字のセーフティープログラムに加入されていた場合でも、新型コロナウイルス感染症（特定感染症）の罹患は保険対象外であることを申し添えます。
- 講習開始前、講習中にかかわらず、講習終了後においても感染者発生の情報がある場合は、以下の問い合わせ先にご連絡を願います。

7. 講習を中止とさせていただく場合について

- 新型コロナウイルス感染症の流行により、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されている場合や行政等からの要請がある場合は中止とさせていただきます。
- 上記に関わらず、受講者及び指導者の健康・安全の確保から日赤東京都支部の判断により中止とさせていただく場合があります。

【問い合わせ先】 日本赤十字社東京都支部 健康安全課

TEL：03-5273-6746

FAX：03-5273-6749

E-mail：koushu@tokyo.jrc.or.jp